

～ 赤ちゃん先生新聞 ～

先日の2月20日（金）に、赤ちゃん先生とママディレクターをお招きして、2回目の「赤ちゃん先生」の授業をしていただきました。その新聞が届きましたので、ご紹介します。

開催：2026年2月20日金曜日
西神吉小学校 6年生

発行：2026年2月

赤ちゃん先生新聞

学習のテーマ いのちのきせき（妊娠・出産の話）

今回は2回目の赤ちゃん先生。前回よりもぐっと距離が近づき、「久しぶり!」「大きくなったね～」「よく笑うようになったね」と、成長に気づく声がたくさん聞こえてきました。抱っこやハイタッチもとても積極的で、泣いてしまった場面でも「かわいいなあ」「さっき泣き止んだやん、すごい!」と、子どもたち同士で声をかけ合う姿が印象的でした。よだれをそっと拭いてくれたり、あやしてくれたりする姿に、こちらまでほっこり。妊娠や出産の話では、エコー写真を見ながら「こんなに小さいの?」「性別はいつわかるの?」と興味津々。真剣なまなざしで話を聞いてくれる姿に、命について考える時間になっていると感じました。

「もう終わりなん?」という声もあり、あっという間のひととき。赤ちゃん子どもたちのやさしい時間に、たくさんの成長を感じる開催となりました。



髪の毛のびてたよ



出産のお話に興味津々



一緒におさんぽ



泣き顔も立っちも全部今だけの姿



こんなに小さいエコー写真の赤ちゃん



つわりのお話にびっくり



大きくなってたね



みんなニコニコ

♪ まあるいいのち ♪
みんなおなじ生きているから
ひとりにひとつずつ大切ないのち

赤ちゃんと一緒に手遊びや「まあるいいのち」を歌いました。教室には、やさしい空気が広がっていました。一緒に歌ってくれて、ふれあってくれて、ありがとうございます。あたたかい時間になりました。

6年生のみなさん、2回目の赤ちゃん先生をととても楽しみにしてくれていてありがとうございました！ママディレクターからの感想です。・妊娠や出産、つわりの話をさせていただく中で、「そんなにしんどの?」「こんなに小さいの?」と素直に反応してくれる姿が印象的でした。真剣に耳を傾けてくれる様子に、うれしい気持ちになりました。・子どもたちと一緒に命の始まりを振り返る時間は、私にとってもあらためて大切さを感じるひとときでした。・命について一生懸命考えてくれていることが伝わってきました。子どもたちのやさしさとまっすぐなまなざしに触れ、私自身もたくさんの力をもらいました。心に残る大切な時間を、本当にありがとうございました。

※本活動は、皆さまからのウェルビーポイントのご支援を活用して実施しました。子どもたちの学びを支えていただき、ありがとうございます。ママの働き方応援隊 高砂校

